



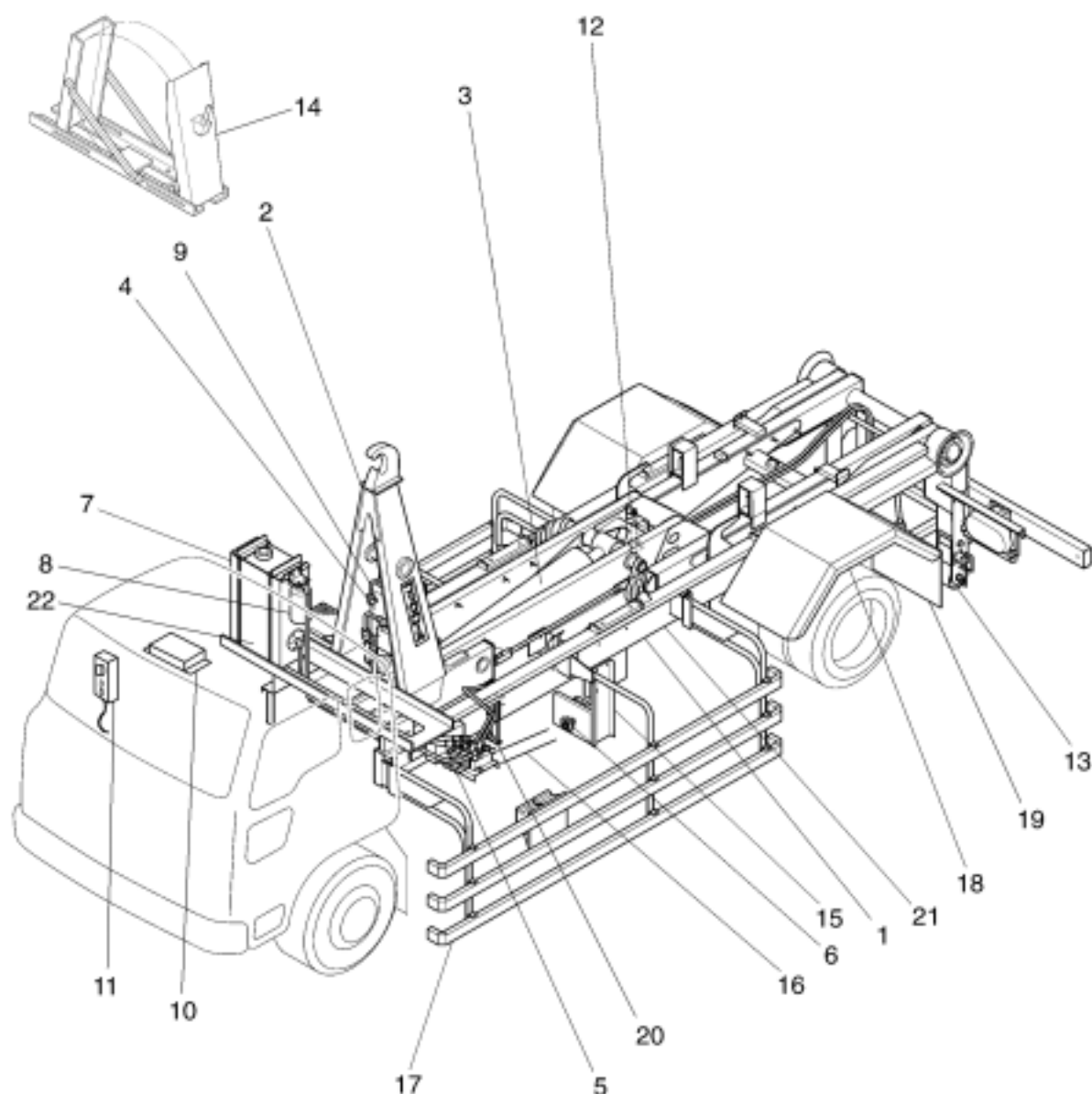
# フックロール架装物解体マニュアル

本解体マニュアルは一般的な解体例を示し、掲載された図等は実物と異なる場合があります。

平成16年4月1日

**極東開発工業株式会社**

## 脱着車架装物解体マニュアル 各部名称



(本名称は一般的な取付け例を示した一例であり、具体的な取付け部品は車両毎に異なる場合があります。)

番号	各部名称	番号	各部名称
1	サブフレーム	12	ハーネス(配線)、センサー
2	アームASSY	13	リヤジャッキ
3	メインシリンダ	14	スペアタイヤキャリア(STC)
4	サブシリンダ	15	オイルポンプブラケット
5	コントロールバルブ等	16	ドライブシャフト
6	オイルポンプ	17	サイドガード
7	リザーバオイルタンク	18	リヤフェンダ
8	リターンフィルタ	19	マッドガード
9	油圧ホース、パイピング等	20	マウンティングブラケット
10	コントロールボックス	21	ライナ(サブフレーム敷板)
11	操作スイッチ	22	オイルドレンプラグ位置

## 脱着車架装物解体マニュアル

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理	主要な外装部品を取り外す。 (サイドバンパ、スベアタイヤ、ツールボックス、リアフェンダ-等)	周囲の安全を確認してください。
	事前処理	ア-ムが下りる状態(走行状態)で作業します。 オイルリザ-バ内の作動油を22のドレヅラグより抜き、処理します。ポンプの低・高圧フランジを外し、作動油を抜いて下さい。各シリンダに接続されているホ-ス、配管の接手を緩めて作動油を抜いて下さい。オイルパンは油圧機器を取り外すまで用意して置いて下さい。標準型の作動油は中小型車約50リットル、大型車約100リットルです。	作動油を受ける為のオイルパンを用意して下さい。
車両全体	架装物(ア-ムASSY)	マウンティングブラケット等のボルトを取り外し、シャシと架装物を切り離す。	周囲の安全を確認して下さい。
車両全体	ア-ムASSY降ろし	天井クレーンを使用してア-ムASSYをシャシより降ろして下さい。	クレーン等を使って安全に注意して下さい。
ア-ムASSY	ア-ムASSY本体	溶断、切削等により、裁断し材質により分別する。	引火、切断ヒューム、粉塵等に注意して下さい。
1	サブフレーム	金属部とパッドなどの樹脂類に分別して下さい。	引火、切断ヒューム、粉塵等に注意して下さい。
2	ア-ムASSY	金属部とパッドなどの樹脂類に分別して下さい。	引火、切断ヒューム、粉塵等に注意して下さい。
3	メインシリンダ	シリンダを取り外し、処理は専門業者に委託して下さい。	オイルパンを用意して下さい。
4	サブシリンダ	シリンダを取り外し、処理は専門業者に委託して下さい。	オイルパンを用意して下さい。
5	コントロールバルブ等	バルブ等は取り外し、処理は専門業者に委託して下さい。	オイルパンを用意して下さい。
6	オイルポンプ	オイルポンプを取り外し、処理は専門業者に委託して下さい。	オイルパンを用意して下さい。
7	オイルリザ-バ	内部残油を抜いて、金属部と樹脂類に分別して下さい。	オイルパンを用意して下さい。
8	リターンフィルタ	内部残油を抜いて、金属部と樹脂類に分別して下さい。	オイルパンを用意して下さい。
9	油圧ホ-ス、パイピング等	内部残油を抜いて、金属部とホ-ス部に分別します。	オイルパンを用意して下さい。
10	コントロールボックス	金属部と樹脂類(基板類)に分別します。	
11	操作スイッチ	金属部と樹脂類、ビニ-ルに分別します。	
12	ハーネス(配線)センサ	金属部と樹脂類、ビニ-ルに分別します。	
13	リヤジャッキ	取り外し、分別して下さい。	
14	スベアタイヤキャリア	取り外し、分別して下さい。	
15	オイルポンプブラケット	取り外し、分別して下さい。	
16	ドライブシャフト	取り外し、分別して下さい。	
17	サイドガード	取り外し、分別して下さい。	
18	フェンダ	取り外し、分別して下さい。	
19	マッドガード	金属部と樹脂類、ビニ-ルに分類します。	
20	マウンティングブラケット	取り外し、分別して下さい。	
21	ライナ- (敷板)	取り外し、分別して下さい。	

## お問合せ先

お問合せは下記までお願いいたします。

極東開発工業 横浜工場 技術部

電話:046 - 263 - 7086